

平成 25 年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

平成26年6月26日

富山県東部消防組合
管理者 澤崎 義敬 様

富山県東部消防組合
監査委員 石倉 勝巳

監査委員 竹島 貴行

平成25年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成25年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

平成 25 年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

平成 25 年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算

(2) 付属書類

平成 25 年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成 25 年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成 25 年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期 日 平成 26 年 6 月 26 日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2 階会議室

3 審査の方法

審査は、平成 25 年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

平成25年度の一般会計の決算額は、予算総額2,334,629,000円に対し、歳入1,654,380,985円（予算対比70.9%）、歳出1,645,431,726円（予算対比70.5%）であり、差引形式収支額は8,949,259円である。前年度決算額と比較して歳入で1,654,199,985円、歳出で1,645,347,095円それぞれ増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は 8,949,259 円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支 8,949,259 円の黒字となった。

なお、当年度実質収支 8,949,259 円から前年度実質収支 15,369 円を差し引いた当年度の単年度収支は 8,933,890 円の黒字となっている。

決算収支状況

(単位：円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべき財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
25	一般	1,654,380,985	1,645,431,726	8,949,259	0	8,949,259	15,369	8,933,890
	計	1,654,380,985	1,645,431,726	8,949,259	0	8,949,259	15,369	8,933,890
24	一般	181,000	84,631	96,369	81,000	15,369	0	15,369
	計	181,000	84,631	96,369	81,000	15,369	0	15,369
増 減	一般	1,654,199,985	1,645,347,095	8,852,890	△81,000	8,933,890	15,369	8,918,521
	計	1,654,199,985	1,645,347,095	8,852,890	△81,000	8,933,890	15,369	8,918,521

6 一般会計

平成 25 年度の一般会計総額は、次のとおりである。

歳入 1,654,380,985 円 (予算対比 70.9%)

歳出 1,645,431,726 円 (予算対比 70.5%)

この差引残額 (形式収支) 8,949,259 円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支 8,949,259 円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支 8,949,259 円から前年度実質収支 15,369 円を差し引いた当年度の単年度収支は 8,933,890 円の黒字となっている。

(1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算現 額対比	調定額 対比
25 年度	2,334,629,000	1,654,380,985	1,654,380,985	0	0	70.9%	100.0%
24 年度	504,279,000	181,000	181,000	0	0	0.1%	100.0%

① 収入状況

予算現額に対する収入割合は70.9%であり、前年度の収入済額と比較して、1,654,199,985円の増となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は875,483,018円で全体の52.9%を占めている。以下、組合債が677,600,000円で40.9%、国庫支出金が91,928,000円で5.5%、県支出金が7,224,688円で0.4%、使用料及び手数料が2,074,650円で0.1%、諸収入が55,260円で0.1%、繰越金が15,369円で0.1%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収 入 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	調定額	収 入 済 額				不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
			金 額	構 成 比 (%)	予 算 対 比 (%)	調 定 対 比 (%)		
1. 分担金及び負担金	924,347,000	875,483,018	875,483,018	52.9	94.7	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	1,900,000	2,074,650	2,074,650	0.1	109.2	100.0	0	0
3. 県支出金	7,141,000	7,224,688	7,224,688	0.4	101.2	100.0	0	0
4. 繰越金	15,000	15,369	15,369	0.1	102.5	100.0	0	0
5. 諸収入	28,000	55,260	55,260	0.1	197.4	100.0	0	0
6. 組合債	1,307,000,000	677,600,000	677,600,000	40.9	51.8	100.0	0	0
7. 国庫支出金	94,198,000	91,928,000	91,928,000	5.5	97.6	100.0	0	0
計	2,334,629,000	1,654,380,985	1,654,380,985	100.0	70.9	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、組合債、国庫支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は2,145,279円、依存財源は1,652,235,706円となっており、その構成比は、自主財源0.1%、依存財源99.9%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源52.9%、特定財源47.1%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予算現 額対比	調定額 対 比
25年度	924,347,000	875,483,018	875,483,018	0	0	94.7%	100.0%
24年度	181,000	181,000	181,000	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は875,483,018円で、歳入総額に占める割合は全体の52.9%となっており、収入済額の内訳は、各市町村からの組合運営費負担金865,030,018円、施設整備費負担金10,372,000円、繰越明許費81,000円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	1,900,000	2,074,650	2,074,650	0	0	109.2%	100.0%
24年度	0	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は2,074,650円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分766,200円、滑川市分754,000円、上市町分554,150円、舟橋村300円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	7,141,000	7,224,688	7,224,688	0	0	101.2%	100.0%
24年度	0	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は7,224,688円で、歳入総額に占める割合は全体の0.4%となっており、収入済額の内訳は、消防防災航空隊員派遣助成金1,121,000円、同派遣等人件費負担金6,103,688円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	15,000	15,369	15,369	0	0	102.5%	100.0%
24年度	0	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は15,369円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、平成24年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	28,000	55,260	55,260	0	0	197.4%	100.0%
24年度	0	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は55,260円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、気象観測謝礼29,860円、雑入25,400円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	1,307,000,000	677,600,000	677,600,000	0	0	51.8%	100.0%
24年度	409,900,000	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は677,600,000円で、歳入総額に占める割合は全体の40.9%となっており、

収入済額の内訳は、一般補助施設整備費事業債（繰越明許費）385,200,000円、緊急防災・減災事業債292,400,000円となっている。

第7款 国庫支出金

(単位：円)

年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額対比	調定額対比
25年度	94,198,000	91,928,000	91,928,000	0	0	97.6%	100.0%
24年度	94,198,000	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は91,928,000円で、歳入総額に占める割合は全体の5.5%となっており、収入済額の内訳は、高機能消防指令センター総合整備事業補助金（繰越明許費）となっている。

(2)歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	2,334,629,000	1,645,431,726	600,000,000	89,197,274	70.5%
24年度	504,279,000	84,631	504,179,000	15,369	0.1%

① 支出状況

予算現額に対する執行率は70.5%であり、前年度の支出済額と比較して1,645,347,095円の増となっている。

支出の主なものは、職員給与費773,926,018円、魚津署運営費34,282,622円、滑川署運営費23,680,889円、上市署運営費18,990,261円、魚津署施設費10,281,235円、本部運営費6,043,366円、組合議会費263,908円、組合運営費127,676円、監査委員費55,754円、公債費（一時借入金利子）223,551円、消防本部施設整備費300,331,446円、消防本部施設整備費（繰越明許費）477,225,000円である。（P11参照）

決算額を性質別（構成比）にみると、義務的経費では、人件費で774,279千円（47.1%）、物件費で130,759千円（7.9%）、維持補修費で5,562千円（0.3%）、補助費等で15,314千円（0.9%）で、公債費（一時借入金利子）で224千円（0.1%）、義務的経費全体では926,138千円となり、決算総額の56.3%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で719,294千円となり、決算総額の43.7%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	25 年度決算額	構成比
1 人件費	774, 279	47. 1%
2 物件費	130, 759	7. 9%
3 維持修繕費	5, 562	0. 3%
4 補助費等	15, 314	0. 9%
5 公債費	224	0. 1%
うち元金		0. 0%
うち利子		0. 0%
うち一時借入金利子	224	0. 0%
計	926, 138	56. 3%
6 投資的経費	719, 294	43. 7%
普通建設事業	719, 294	43. 7%
うち単独事業	242, 069	14. 7%
歳出合計	1, 645, 432	100. 0%

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算現額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	303, 000	263, 908	0. 1%	87. 1%	0	39, 092
2. 総務費	301, 000	183, 430	0. 1%	60. 9%	0	117, 570
3. 消防費	2, 333, 127, 161	1, 644, 760, 837	99. 7%	70. 5%	600, 000, 000	88, 366, 324
4. 公債費	500, 000	223, 551	0. 1%	44. 7%	0	276, 449
5. 予備費	397, 839	0	0. 0%	0. 0%	0	397, 839
計	2, 334, 629, 000	1, 645, 431, 726	100. 0%	70. 5%	600, 000, 000	89, 197, 274

第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	303, 000	263, 908	0	39, 092	87. 1%
24年度	45, 000	40, 447	0	4, 553	89. 9%

支出済額は263,908円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、不用額は、39,092円で、予算現額に対する執行率は87.1%となっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	301,000	183,430	0	117,570	60.9%
24年度	55,000	44,184	0	10,816	80.3%

支出済額は183,430円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費127,676円、監査委員費55,754円となっている。

不用額は、117,570円で、予算現額に対する執行率は60.9%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	2,333,127,161	1,644,760,837	600,000,000	88,366,324	70.5%
24年度	504,179,000	0	504,179,000	0	0%

支出済額は1,644,760,837円で、歳出総額に占める割合は全体の99.7%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費773,926,018円、本部運営費6,043,366円、魚津署運営費34,282,622円、滑川署運営費23,680,889円、上市署運営費18,990,261円、消防本部施設整備費300,331,446円、魚津署施設費10,281,235円、消防本部施設整備費（繰越明許費）477,225,000円となっている。

不用額は、88,366,324円で、予算現額に対する執行率は70.5%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	500,000	223,551	0	276,449	44.7%
24年度	0	0	0	0	0%

支出済額は223,551円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっており、支出済額の内訳は、一時借入金利子である。

不用額は、276,449円で、予算現額に対する執行率は44.7%となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
25年度	397,839	0	0	397,839	0%
24年度	0	0	0	0	0%

当初予算額は、1,000,000円であり、3款 消防費へ602,161円を充当している。

7. 財産管理

(1) 土地について

該当なし

(2) 建物について

本部通信指令センター 延床面積579㎡

上市消防署舟橋分遣所 延床面積273㎡

(3) 物品について

区 分	決算年度末現在高
(本部)	
会議テーブル	18
肘付チェア	35
演壇（4分割2段式）	1
(魚津署)	
消防吏員用防火衣	36
消防用ホース	10
高圧空気容器	10
(滑川署)	
空気呼吸器用軽量ボンベ	1
空気呼吸器	1
潜水救助資器材	3
消防用携帯無線機	1
(上市署)	
舟橋分遣所高規格救急自動車	1
舟橋分遣所消防ポンプ自動車（無償譲渡）	1

8. 意見

(1) 施設の整備関係等について

平成25年度において、通信指令センター建築工事、高機能消防指令センター指令台整備工事等を行い、消防隊及び救急隊等の効率的で迅速な運用に努めているものと思われる。国の方針では、平成28年5月31日までに、すべての消防本部が消防・救急無線のデジタル化を進めることになっていることから、当初の計画に基づき、整備され

ることを望むものである。

9. むすび

以上で平成25年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べたが、予算の執行に際してはその重要性を認識され、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業についても内容の充実した執行が行われていた。

組合債の発行額が多額になっており、今後、計画的な発行及び返済に努めていただきたい。

各施設の運営管理について、経費の節減等効率的、合理的運営に努力がなされていると思われるが、なお一層の効率的運営、組織の一体感の醸成を図られ、今後も消防広域化のメリットを十分に生かし、地域住民が安心して安全に暮らせるよう努力されることを望むものである。